



N I T E の生物遺伝資源の産業利用促進事業

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
バイオテクノロジー本部生物遺伝資源開発部門

目 次

1 .	ご挨拶	1
2 .	N I T E との産業利用促進に係る共同研究	1
	改変型S-ヒドロキシニトリルリアーゼを用いた光学活性シアノヒドリン合成技術の開発	1
	[N I T E - 日本触媒チーム：株式会社日本触媒、京都大学工学部]	
	生物学的手法を用いた光学活性非天然型アミノ酸ライブラリー構築法の開発	5
	[N I T E - 早稲田大学チーム：早稲田大学理工学部、チッソ石油化学株式会社]	
	R I T E バイオプロセスによる高効率化学品製造に資する基盤技術要素開発の研究	9
	[N I T E - R I T E チーム：財団法人地球環境産業技術研究機構 (R I T E)、株式会社日本化薬]	
	遺伝子パターンニング化技術を応用した微生物の遺伝子レベルでの品質管理及び安定供給に資する迅速スクリーニング用基盤データベースの作成と基幹検索ソフトウェアの開発研究	13
	[N I T E - ヤマト科学チーム：ヤマト科学株式会社、G&Gサイエンス株式会社]	
3 .	その他	18
	特許出願件数	18
	学会発表	18

- ご 挨拶 -



宮崎正浩
NITEバイオテクノロジー本部長

NITEは、NBRCが保有する生物遺伝資源の産業利用を企業や大学と共同で進めるため、産業利用促進事業を平成15年度から実施してきました。現在までに着手したテーマ4件の内2件が17年6月末で終了し、残る2件の内、1件が18年2月に、残る1件が18年9月で終了する予定であり、4件全てが産業利用に向けた顕著な成果を上げ成功裏に終了しようとしています。本日この「ちばバイオクラスター交流会」の場でこれら4件の研究成果を発表できることを大変喜ばしく思います。これまで本事業に大変な熱意をもって取り組んでいただいた共同研究先の関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げますとともに本日の交流会を契機に、産業界、学会、研究機関の皆様が今後一層NITEの生物遺伝資源を利用されることを期待しています。



原山重明
NITEバイオテクノロジー本部生物遺伝資源開発部門長

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) バイオテクノロジー本部では、微生物を始めとする多様な生物遺伝資源を収集・保存し、基礎科学および産業での利用を図っています。しかし、多くの資金を費やして魅力ある生物遺伝資源を作っても、それが科学の振興あるいは新規ビジネスとして結実するまでに長い時間を要してしまうならば、その期間は、投資が回収できない「死の谷」となってしまいます。これを防ぐために、当本部では、生物遺伝資源の利用を促進し、また、利用者のニーズを直接のコンタクトで吸収することを目的に、「産業利用促進事業」を実施いたしました。この事業では、生物遺伝資源を用いた新規ビジネス創世を、企業とNITEが共同で実施するプロジェクトを四件、それぞれ二年の期間で実施しています。本事業は幸いにして多大な成果を生み、生物遺伝資源およびその情報の有用性を大いにアピールすることが出来ました。今回、その概要をパンフレットにまとめました。NITEの事業の一端を皆様にご覧いただき、NITEの持つ生物遺伝資源に更なる関心を持って頂ければ幸いです。



独立行政法人製品評価技術基盤機構

バイオテクノロジー本部

〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足 2-5-8

Tel. 0438-20-5760 Fax. 0438-20-5766

<http://www.nite.go.jp/>